

第3回総合教育会議 議事録

会議日時：令和8年2月19日(木)13:15~14:15

会議場所：第4会議室

出席者

市長/企画部長/教育部長/学校教育課長
教育長/伊藤委員/寺田委員/蔭山委員/大橋委員

事務局

企画政策課長、企画政策課長補佐、担当

議題

知立市教育大綱について

【以下議事録】

(冒頭事務局より資料に沿って説明)

議長（市長）

ただいま事務局より、知立市教育大綱について説明がありました。委員の皆様からご質問、ご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

伊藤委員

このように「ご意見があったが、原案のとおりとする」という対応は、公表されるものですか。意見を提出した方に対しても、「こういう考えで、このままにします」ということが伝わるとよいと思いました。

事務局（企画政策課）

ありがとうございます。パブリックコメントは原則として個人の方に返信はいたしません
が、このように市の考え方を広く公表することとしておりますので、ホームページや、もと
もと閲覧できる各閲覧場所に、パブリックコメントに対する市の回答を掲載いたします。

蔭山委員

生涯学習の点で、「地域生涯学習」という言葉は、あまり聞いたことがありません。説明で
は「子どもから大人、高齢者まで、地域を基盤として学びを深められる環境づくり」とあり
ますが、「地域」というイメージが何を指しているのか分かりにくく、質問したいです。「子
どもから高齢者まで」というのは生涯学習に含まれると思うので、「地域」を付ける意義が
はっきりしないように感じます。

事務局（企画政策課）

ご指摘のあった4点は、これまでの教育大綱から変更していない部分ではありますが、今回、
他の部分に変更があるためパブリックコメントで提示した結果、ご指摘をいただいたもの
です。事務局としても、「地域生涯学習」という表現が用いられた当時の考え方を確認しよ
うとしましたが、「地域」という語が付された経緯に関する記録は残っておらず、詳細を確
認することはできませんでした。一方、知立市第7次総合計画で「地域を基盤として、子ど
もから高齢者まで、学び続けられるように」という目標があるため、そこに合わせて「地域
生涯学習」としている、という理解でお願いしたいと考えております。

蔭山委員

経緯が分からないまま「地域」という言葉を用いることには、違和感を覚えます。必要な説
明が用意できるなら残してもよいですが、十分でないなら、省いたらどうかと思います。

教育部長

作成当時の経緯は詳しくは分かりませんが、一つの背景として考えられるのは、本市の生涯
学習は中央公民館などの拠点だけでなく、各町内の公民館など地域ごとに推進員のような
方を置き、地区ごとに講座や活動を行っていただく体制があり、どこでも生涯学習に触れら
れるようにしている点が挙げられます。市が独自に行うだけでなく、各地区でも盛り上げて
いただき、各地域で活動していただくことを目標に進めている事業であり、補助金等も含め、
そうした趣旨から「地域」という言葉が入ったのではないかと推測します。

蔭山委員

そのような意味があるなら分かりますが、「地域生涯学習」という単語になると、どういう意味なのか疑問が残ります。「地域を考慮した生涯学習」など、修飾語的にした方が分かりやすいのではないのでしょうか。

伊藤委員

地域に関わっていただく意図があるのであれば、「生涯学習」だけにするよりは、地域という言葉は残しつつ、「地域に根ざした」というように意味が伝わる形にするのがよいと思います。

大橋委員

前段にあるように切れ目のないライフステージにおいて継続して学び続けるということ自体が、生涯学習の理念そのものを、前段で既に示していると思っています。

その上で、「地域」という言葉を付ける意義があるのかどうか論点だと感じています。先ほど教育部長がおっしゃったような意味合いがあるのであれば、「地域に根ざした生涯学習」という表現には意味があると思いますし、その方向性を示すのであれば付けてもよいと思います。

寺田委員

私の住んでいる地域でも、公民館を中心に講座を開いたり、生涯学習に関する講座を実施したりしております。

そうした状況を踏まえると、先ほど言われたように「地域に根ざした生涯学習」という形にするのか、それとも「地域生涯学習」という表現のままにするのかは改めて考える必要があると思いますが、やはり「地域」という言葉は入れておいた方がよいのではないかという気がいたしました。

議長（市長）

委員の皆さんからも、「地域を入れた方がよいのではないか」という意見が多かったと思います。また、今後、市の施策として地域でも生涯学習を進めていくのかどうかという方向性も論点だったと思います。

ただ、教育大綱自体は、今回の見直しにおいても、これまでの内容や趣旨は大きく変えずに

いこうという話で進んでいると理解しております。その中で「地域生涯学習」としてきたのは、きっと先ほど教育部長がおっしゃったようなニュアンスが含まれているのだろうと私も思います。

また、市としても地域での生涯学習をやめていく方向ではなく、継続していく方向で来ておりますので、「地域」という言葉はあった方がよいとは思いますが。

そうすると、「地域生涯学習」という言葉をそのまま使うのか、修飾語として使うのか、という点が整理のポイントになるのではないのでしょうか。

教育長

分かりやすいのは「地域に根ざした」という表現だと思います。ご意見をいただいた方の意図は分かりませんが、「探究的な」とされたのも、分かりにくさがあったからかもしれません。「地域生涯学習」という言葉はあまり聞き慣れていませんので、「地域に根ざした生涯学習」とした方が分かりやすいのではないかと思います。

事務局（企画政策課）

市の考え方としては、冒頭の「探究的」という表現は主に学校教育で用いられる概念であると考えております。また、「地域生涯学習」という言葉は一般的に馴染みがあるとは言い難いことから、先ほど教育部長が説明された趣旨をより明確にするため、表現を「地域に根ざした生涯学習」に変更する方向で整理したいと考えております。

このような整理でよろしいでしょうか。

（一同）

異議なし。

蔭山委員

ただ、意見のポイントはそこではないので、「探究的な」というご提案についてはきちんと触れたうえで、「地域生涯学習」のところについては誤解を招かないように、という書き方にした方がいいと思います。

次に、「祭行事」についてです。ひらがなの「まつり」と漢字の「祭」の違いについて、提案者の意図にきちんと答える必要があると思います。

ひらがなの「まつり」はイベント名称として広く浸透している一方、漢字の「祭」は歴史的・祭礼的な意味合いを含む表現であると整理すれば、違いが分かりやすくなるのではないのでしょうか。

また、パブリックコメントが1件のみであり、すべてが「原案のとおり」となると、却下されたという印象を与えかねません。表現を工夫し、意見を踏まえて検討したことが伝わる書き方にすることが重要だと思います。

せっかく意見を出していただいた以上、次回も意見を出そうと思ってもらえるような回答の在り方について、改めてご検討をお願いしたいと思います。

事務局（企画政策課）

ご懸念は承知しております。いただいたご意見への感謝が伝わる書き方、また「精査した結果、表現を見直した」など、前向きに受け取れる表現となるよう、回答文をさらに柔らかくなるよう検討し、修正いたします。

議長（市長）

それでは、知立市教育大綱については、本日いただいたご意見を踏まえ、事務局にて修正の上、改めて確認いただいたうえで決定とする、という理解でよろしいでしょうか。

事務局（企画政策課）

本日いただいたご意見を反映し、事務局で修正したものを改めて確認いただき、意見に対する市の回答といたします。

議長（市長）

知立市教育大綱につきましては、「地域生涯学習」を「地域に根ざした生涯学習」に修正することとし、その内容をもって決定いたします。

また、パブリックコメントに対する意見回答につきましては、後日、委員の皆様にも最終確認をしていただいた上で公表いたします。

それでは、知立市教育大綱については以上とさせていただきます。

次に、その他の件ですが、何かご意見はございますでしょうか。

事務局（企画政策課）

（資料に沿って、来年度の機構改革について報告）

教育長

（公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の概要について報告）

議長（市長）

その他、よろしかったでしょうか。それでは最後に、事務局より連絡をお願いします。

事務局（企画政策課）

来年度の第1回総合教育会議は、令和8年5月22日（金曜日）午後1時15分からを予定しております。会議資料が整い次第、改めてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。